

“PLAN DO SEE,”

『高校生の進路ノート スタンダード』の活用事例

(2018.10.9 取材)



テーマ3 学びを未来につなげよう

埼玉県立浦和商业高等学校 長谷川 恵美 教諭

『高校生の進路ノート スタンダード』(全国高等学校進路指導協議会 編／実務教育出版 発行)を活用した授業の実践事例をご紹介します。埼玉県さいたま市にある埼玉県立浦和商业高等学校のご協力で、2018年10月9日に行われた「総合的な学習の時間」での授業を取材させていただきました。

浦和商业高等学校は、商業科と情報処理科を設置し、生徒の希望する進路実現を果たしており、中でも就職に関しては県内屈指の実績を誇る男女共学校です。学びの段階に応じてさまざまな資格取得にチャレンジできるカリキュラムが特色で、例年、卒業生の約60%が就職し、その内の65%が事務系の職種に就きます。生徒は、在学中に、経済・経営等のビジネスの基礎を学び、3年次には学習の総まとめとなる「総合実践」という科目で、会社経営を疑似体験し、ビジネスマナーについても学習しています。

同校の現在2学年では、キャリア教育の中の、「進路ノート」を使った進路学習では、クラス単位ではなく、学年全体で年に数回ずつ展開する形態で行っています。ご紹介する本時は、1年生の時に全員を対象にした『スタンダード』を活用した進路学習の3回目で、「高校での学びについて」考えることがテーマです。生徒それぞれが「自分の学ぶ意義」を見つけ、卒業までの2年間を前に「主体的に学ぶ」姿勢を身につけたいというねらいで展開されました。本時担当の長谷川先生は、卒業後の進路についてまだ考えの浅い生徒を前に、授業冒頭で引き締め、グループ活動では盛り上げ役となり、個人作業では静かに集中させるなど、緩急自在な指導で授業を進められました。

生徒の活動

*細長い大教室に1年生286名が集合。中央を境に、半分に分かれて、向き合って着席。



*生徒各自で記入作業。

先生の活動

〈導入〉

■今日は事前に正装で来るように連絡しました。皆さんは、2年後の就職試験や入学試験には、冬服の正装で臨みます。男子は学生服で、第1ボタンまで締め、詰襟のホックまでかける。ワイシャツも第1ボタンまで締める。女子は、ブレザーのボタンを締め、ワイシャツの第1ボタンまで締める。校章も忘れずに付けてください。実際に締めてみると苦しいですね。でも本番では皆さんは、その格好で行くのです。慣れるためにも、今後、進路の授業・行事には必ず正装で来てください。皆さんの気持ちも正装で、緊張感を持って来てください。

〈展開〉

■では、『進路ノート スタンダード』10ページを開いてください。〈テーマ3 学びを未来につなげよう〉です。皆さん“学び”って聞いて、何を思いますか？ 学校の勉強？ それだけではありませんよ。いろいろな学びがあります。[3-1 学ぶことの意義]を見てください。

*序文読む

■A「学ぶことの意義を示した名言・格言にふれよう」は各自の作業です。10個の名言・格言を読んで、なるほどと感じたものには、なるほどレベルの高さを、それぞれ自分の考えで付けてみてください。難しい漢字はイメージで考えてみてくださいね。

指導ポイント

*大人数のため、騒いだり、馴れ合いにならないよう、授業の始めに気持ちを引き締めさせる。

▼「進路ノート スタンダード」P.10



生徒の活動

*生徒各自で記入作業。



*生徒、話し合いながら記入作業。

▼「進路ノート スタンダード」P.11



先生の活動

■なるほどレベルが高いものが1つでもあった人、手を挙げて。2つあった人は？3つあった人は？5つ以上あった人は？

*挙手をさせる

■今度はB「学ぶことの意義を自分なりにまとめよう」の作業です。自分に言い聞かせたい名言・格言を、自分で考えて書いてください。今後学びに興味を持つための何か一言を作ってみてください。何でもいいですよ。カッコつけても構いませんので、前向きな言葉を考えてみてください。前向きに考えないと皆さんの将来は前向きになりませんよ。



■すぐ書ける人もいるし、書けない人もいます。まだ書けない人には、授業の最後に、もう一度考えてもらいます。先に進みます。11ページの[3-2 現在の学びの確認]を見てください。A「時間割を書き出そう」です。自分のクラスの現在の時間割を、今度はまわりの人に聞いてもよいので、完璧に作り上げてください。



■生徒手帳にちゃんと書いて身につけている人、頭の中にちゃんと入っている人、全然わからなくて一つひとつ近くの友だちに聞いている人もいました。面白いですね。次にBに進みます。「教科・科目のランキングをつけよう」です。

*設問を読む

■①から④の4つの学びの視点について、1位から3位まで付けるのは難しいかもしれないので、それぞれ2位まで付けてみてください。各自の作業なので自分の世界に入って、考えてみてください。

指導ポイント

*学びを否定的にとらえるのではなく、肯定的にとらえるように促す。

*時間割を書き出すことで、現在学んでいることの再確認をさせる。

生徒の活動

先生の活動

指導ポイント

■好きな科目と、得意な科目って違いますよね。進路には絶対必要、でも苦手っていう科目もあると思います。第3位まで、入れられる人は入れてください。「④希望の進路実現に必要な教科・科目ランキング」は、まだ自分の希望する進路がきちんと定まっていなくても書けるでしょう。どんな進路に進んでも、必ず必要な教科ってありますよね。だから空欄にはならないはずですよ。

*ランキングは、第1位から第3位まで埋めるように促す。



*生徒の記入作業が続く。

▼『進路ノート スタンダード』P.12



■ではそろそろこの作業は終了にします。12ページを開けてください。[3-3 身近にある学び]です。

*序文を読む

■人生は学びの連続です。今、皆さんは学校で授業を受けて、これをやりなさい、あれをやりなさい、覚えなさいって言われて、言われたままに勉強をしていると思います。それで、高校を卒業して働き出すとまずはつらいことが多いはずですよ。学ぶことがたくさんあります。社会に出てからの方が学ぶことが多いのです。だから、今はそのための準備期間です。高校で学べることは、しっかり高校で学んでおいてください。ではA「学校の外にある学びを探そう」にいきましょう。

*設問を読む

■12ページに書いてある、学校の外にある様々な施設や道具などは、皆さんの学びに利用できるかどうか。学びに利用している、ではなく利用できるなどと思うものを判断してください。では、ここも自分の世界に入って作業です。静かに作業をしてください。これは、すぐ出来ますよね。

*学校の外にある学びについては、利用しているかどうかではなく、利用できるかどうかという視点で考えさせることで、学びの広がりを認識させたい。

*生徒、各自で記入作業。



■あまり難しく考えなくていいですよ。

生徒の活動

*生徒の記入作業が続く。

*生徒、話し合う。

*生徒、各自で記入作業。

▼「進路ノート スタンダード」 P.13



先生の活動

■ さあどうでしょうか。では、その下のB「学校の外にある学びのよいところを考えよう」に進みましょう。

*設問を読む

■ 学校の外にある学びのよいところを、考えて書いてみてください。たくさんありますね。学校では学べないことで、外ではできることってたくさんありますから。

■ 外の学びのよいところとは、たぶん、人それぞれ違うと思います。286人の考え方と気持ちがある。これから1分だけ時間をとります。近くの人と情報交換してください。そうすると、「アー」って気がつくことがありますから。はい、始め。

■ はい、ではよろしいでしょうか。たぶん「そういう考えをするんだ」、という発見があったと思います。自分にはない考え方を発見できましたか？ 外での学びにはよいところがたくさんあるというのが分かったのではないかと思います。では、それを踏まえて、その下のC「学んでみたいことリストをつくろう」に進みます。

*設問を読む

■ 今、学んでみたいことを考えてみてください。特に、高校の中では学べないことがいいですね。3つは埋まらなくても、2つは埋めてください。



■ はい、そろそろよいでしょうか。英語がペラペラになりたいという人、結構いますね。あと、韓国語学びたいとか。流行りなのかな？ 恋愛を学びたいという人もいました。(生徒が盛り上がる)これも大事ですよ。

■ それでは最後の13ページ[3-4未来に生かすための学び]に進みましょう。まとめになります。最初の3行を見てください。

*序文を読む

■ まずA「好きな学び方を確認しよう」。自分はこういう学び方が好きだよ、と思うものにマークしてみてください。はい、これも一人の世界ですぐにやってみてください。

指導ポイント

*学校の外の学びを意識させることで、教科・科目にとらわれずに学びに向かう力に気づかせたい。

*机間を回りながら生徒の意見を引き出せるようアドバイスする。学校の外の学びを意識させることで、教科・科目にとらわれずに学びに向かう力に気づかせる。

生徒の活動

*生徒、各自で記入作業。

先生の活動

■好きか嫌いかのどちらか。そんなに考えることないですよ。直感で。

■さあ、いいですか。今、7つの学び方について好きか嫌いかを考えてみました。では、その下のB「身につく学び方を考えよう」に進みます。

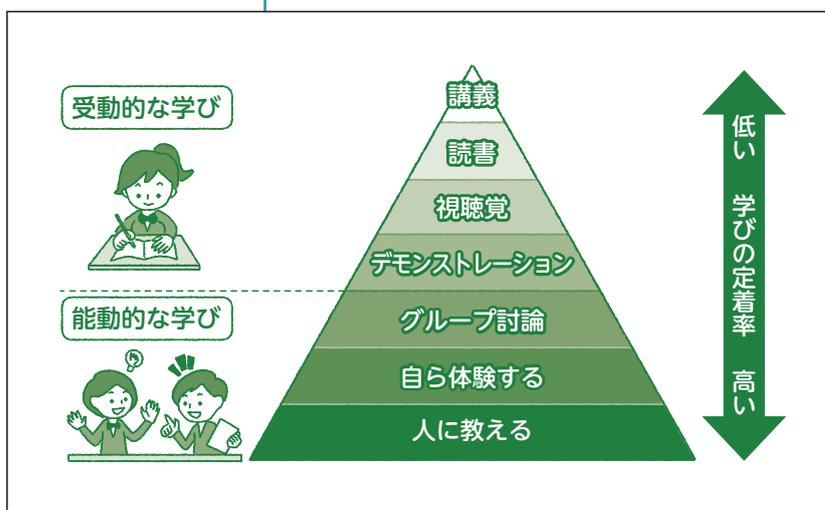
*設問を読む

■「能動的な学び」という言葉が出てきました。自分からとか、積極的に学ぶというイメージがあると思います。下のピラミッド型の図を見てください。

■上半分が受動的な学び。下半分が能動的な学び。絵

指導ポイント

*ラーニングピラミッド:アメリカの国立訓練研究所(NTL)が提唱した学習定着度の高さをピラミッドで表した図。



を見ればわかるように、受動的な学びの項目は、一方的に他からの働きかけを受ける学びです。下の能動的な学びは、イラストで誰かとお話しているように、自分から他者に働きかける学び、という考え方です。自ら進んで自発的に学ぶのだけれども、その時、他者を巻き込んで学ぶという意味で考えてください。

■人に教えるとか、グループ討論とか、能動的な学びは、いろいろな教科でやっています。人に教えられれば、ずいぶん自分で理解しているってということですね。さらに、学びの定着率ですが、理想的には、下半分の能動的な学びの方が定着率が高いので、できるといいなと思っています。

■それでは各自で、能動的な学びによって自分の身についたなって体験を振り返って、記入欄に記入してみてください。記入例があります。自転車の乗りかたを覚えて兄弟に教えてみたとか、友だち同士で問題を出し合ったりとか。各自、1つか2つ位書いてみてください。人によって違うと思います。

*生徒、各自で記入作業。

■では、最後のまとめに入っていきます。C「学びに向かう気持ちの整え方を話し合おう」です。

*設問を読む

■嫌々学ぶのでは自分のためにならないですよ。では、どうしたら、自分から進んで学ぼうって気持ちになれるだろう。学びたいって思えるだろう。気持ちを盛り上げる方法を考えてみてください。下に例があります。

*記入例を読む

■最後の話し合いです。それを記録して終わりにします。それぞれの、グループで、自分から学びたいと思わせるような方法を、3つの戦略ごとに話し合っ、出てきた意見を書いてください。

*生徒同士で、話し合う。



〈まとめ〉

■結構面白いことが書いてありますね。まだ途中の人もいると思います。学びって、ふだんからあまり考えませんよね。明日からまたいろんな学びが皆さんの前にやってきますから、しっかりそれぞれで学びをしてください。この先、ずっと学びです。学び方にはいろいろありますが、自分が一番学びやすい、学びたいやり方で学ぶのが理想的です。皆さんは今、高校1年生なので、残りの学校生活は2年間あります。でも、進路の準備で動かなければならないので、科目の学びはなんとか1年半位でまとめたいです。

■皆さんは、2年後の進路試験に向けて、今から少しずつ準備していかなければいけません。ボーっと過ごしてはだめですよ。自分の進路は、人任せにしないこと。皆さんそれぞれの人生です。よく考えてください。相談はいくらでもしてください。迷ったり、悩んだら、いろいろな先生に相談してみてください。家族にも相談する。皆さんが失敗しない進路を見つけていけるように頑張りましょう。先生方も応援していますので。今日は長時間がんばってくれました。では授業終わります。上着を着て、最後の挨拶をして終了にします。

*学びに向かう気持ちの整え方にどのようなものがあるのかを他の人と共有して、自分の参考にするよう促す。